

日韓文化交流会の変面ショウ

永井藤樹

6月23日、日韓文化交流会がありました。韓国の放送通信大学の日本語学科の学生18名および引率の先生と神奈川学習センターの「韓国語同好会」の方々との交流会です。詳しいことは、「学習センターなつだより」75号に放友会の村田カズ子さんが寄稿されていますので、それをお読みください。

神奈川学習センターで行われた交流会の後、中華街の四川料理のお店で懇親会が催されました。乾杯を繰り返し談笑していた会場に突然、一羽の巨大な怪鳥が舞い降りたかのように、マントを翻した怪人が飛び込んできました。予期せぬ出来事に、会場はたちまち騒然となり、興奮の増埒と化しました。中国伝統の「変面ショウ」です。瞬時に変わる仮面を見たのは、初めてのことでした。百面相のように次々に変わる仮面に拍手喝采、あまりに速い変面に、カメラが追い付かなくて十数枚撮った中で何とか見れる写真は、一枚だけでした。(少しピンボケ)

ショウの最後に被り物を外して素顔を現した怪人は、イケメンの中国人青年でした。仮面がどんなカラクリなのか、仕掛けは最後まで分からず仕舞いでした。こうして素晴らしい中国の伝統芸をも楽しみながら、日韓の親善交流を深めた一日でした。